

県高校ハンド

ハンドボールの第1回ユーファースト旗争奪第52回九州高校選抜大会県予選最終日は17日、県総合運動公園体育館で行われた。女子決勝は浦添が那覇西を28-25で破り、6年ぶり10度目の優勝を果たした。男子決勝は興南が浦添商業を42-28で下して、7年連続33度目の頂点に立った。

男女の優勝、準優勝校は九州大会(来年2月、長崎)の

出場権を得た。

【女子】
△準決勝
浦添 29-21 コザ
那覇西 32-25 昭葉付
△決勝

浦添 28(15-12)25 那覇西

【男子】
△準決勝
興南 55-20 美里
浦添商 41-33 浦添
△決勝

興南 42(21-12)28 浦添商

興南-浦添商 前半、興南の比嘉泉稀が中央へ切り込む



攻撃緩めず突き放す 興南



男子優勝の興南

浦添が那覇西に28-25で勝利して6年ぶりの優勝を果たした。

「九州、全国に行くためには、県内では圧倒して勝たないといけない」(比嘉泉稀主将)と後半に入っても手を緩めず、さらに差を広げて42-28で浦添商を下した。

司令塔である比嘉にはマンツーマンのマークが付いたが「想定内。周りに仲間もいる」とチームを鼓舞して最多の8点を挙げる活躍。さらに大城虹雲が7点、1年生の洲鎌花ら3人が6点と躍動。肩の厚さを見せつけ、標榜する「守って速攻」を展開した。

その起点となったのが、GKの喜名志成。随所で好セーブして攻撃につなげ、7本スローは5本中4本を止めるなど、守護神の務めを果たした。

喜名は「この優勝は九州、全国への通過点」と言いつぶつ。「九州大会でもセーブ率を40%以上をキープして優勝したい」と意気込んだ。

浦添 女子 10度目V 興南 男子 7連覇



浦添-那覇西 前半、浦添の野底桃伽がショートを放つ=県総合運動公園体育館(名護大輝撮影)

要所で粘り逃げ切る 浦添

女子・浦添は那覇西に28-25で勝利して6年ぶりの優勝を果たした。

浦添は前半、金城彩佳の速攻やカットインからのシュートなどでリズムをつくり、最大6点差をつけた。左サイドの比嘉柑奈からパスを受けたエース野底桃伽が初披露したスカイプレーも決まった。しかし、速攻を連続2本決められるなど追い上げられ、15-12で折り返した。

後半に入っても先に得点されるなど1点差まで詰め寄られた。だが守備の中心の野底

や又吉叶、新垣陽咲、又吉虹歌の連係は崩れなかつた。「点は取れなくてつづかたが、取られなければいい」(野底)と粘りの守りでリードを維持。

その間、又吉虹の速攻や新垣が相手ディフェンスを交わしてシュートを決めるなどして、攻撃のリズムを取り戻す。最後まで諦めない那覇西の攻撃をかわして勝ち切った。

チーム最多の6点を挙げた金城は「相手のディフェンスをはずす意識で間を割つていけた」と手応えを得た。又吉



叶主将は「九州制覇したい」と決意を語った。

(内間健)



大谷
スで同
ラウト

大谷アーロン賞 日本勢初 大リーグ オールMLB 2部門選出